

令和7年春の叙勲で受章

鬼頭繁治名誉教授が教育研究功労で「瑞宝中綬章」を受章されました。

土木60周年を迎えて

土木工学科は1965年に開設され、2025年で60年を迎えました。この間の卒業生は7143名（2025年3月時点）となり、全国各地で活躍しておられます。

本学は実学教育を中心とし、業界の中堅技術者の育成を目指してきました。このことから卒業生からよく聞くのは、愛工大の卒業生は業務においても接することが多く、卒業生として心強さを感じるということです。また、在校生の就職活動においても、卒業生皆様のお力添えをいただいております。

本学科の特徴は、開設当時から全国でも有数の設備を有している点で、中でも、当時としては最先端の大型振動台や、土木分野では珍しかった走査電子顕微鏡の設置から始まっています。近年では耐震実験センターや地域防災研究センターの設置により、時代のニーズを先取りした研究成果を社会に提供しています。これによって、日々変化する社会情勢に伴い、新規の建設の他に防災と社会基盤の維持管理に重きが置かれている中で、対応できる技術者の育成を今後も目指しております。

今後とも卒業生の皆様のお力添えをいただきたく願いたします。学科開設60年ということは、卒業されて社会で頑張っておられた卒業生の中には引退された方もいらっしゃる、長きにわたりご活躍された方々にお礼を申し上げるとともに、引き続き愛工大土木工学科と同窓会へのご支援を賜りますようお願いいたします。 岩月 栄治（60D）

応用化学学科OBOG企業懇談会開催

ここ数年、応化会主催の「OBOG企業懇談会」を開催しています。2025年12月19日には、第10回となる同会を開催予定で、多数の企業様より参加のご意向をいただいております。また、参加企業様とのさらなる連携を図るため、「OBOG企業懇談会ご参加企業様との意見交換会」を、昨年に続き2025年5月23日に開催いたしました。こちらでも活発かつ有益な意見交換の場となり、ご参加企業様から高い評価をいただきました。この意見交換会につきましても、今後継続していく所存です。

前回の第9回「OBOG企業懇談会」は、2024年11月29日に八草キャンパスA1Fプラザ1階フードコートにて開催しました。40社もの企業様にご参加いただく盛会となり、皆様の熱意を強く感じることができました。学生は前回より多い61名が参加し、自身の将来を考えながら、各社の説明に対して真剣に耳を傾けました。ご参加企業様からも大変ご好評をいただくことができました。企業の皆様には、学生へ丁寧にご説明いただきましたこと、この場を借りて心より感謝申し上げます。 小久保 佳亮（H30CB）



ホームカミングデーを開催!!

大学祭と同日の2025年10月11日（土）にホームカミングデーを開催し、84名の同窓生にご参加いただきました。今年は、3分間PRスピーチ、基調講演、名刺交換会の3部構成で開催しました。

3分間PRスピーチでは、同窓生7名によるスピーチと同窓生から3件の学生チャレンジプロジェクトが紹介されました。基調講演は、「FACTORY X」を創業した神谷喜穂さん（H25HT）からお話をいただきました。業界や専門を超えた同窓生の交流をすることができました。



倉橋 奨（H15D）

オリジナル日本酒「11代目 瑞若」ができました!

これまで愛知県産のお酒を選定しておりましたが、11代目より瑞若会地方支部の地域のお酒と地方支部オリジナルラベルをお楽しみいただきます。11代目は岐阜県産の酒米「ひだほまれ」を使用した芳醇な米の旨味が楽しめる純米酒です。



「十一代目瑞若」
4号瓶1本 2,200円
(消費税込み)
限定 200本

●購入先 株式会社名榎屋（なづちや）
〒477-0036 愛知県東海市横須賀町四ノ割19番地
営業時間/9:00～20:00 定休日/第1・第3月曜日
TEL:0562-32-0006 FAX:050-3452-0344
E-mail:naduchiya@me.com
公式HP:https://www.facebook.com/naduchiya

■ 瑞若会から奨学金支給

毎年、2・3・4年の全専攻学生を対象とし、成績優秀者に瑞若会奨学金を交付しています。2025年度は42名に支給しました。

■ 瑞若会から助成金支給

学部学生が国内で開催される全国規模の学会やこれに準ずる学会、及び国際学会で発表する場合、助成金を支給します。交通費と宿泊費の実費として、当該年度において1人1回3万円を上限として支給されます。

■ 入学奨励金の制度について

卒業生・在校生の兄弟姉妹並びに、卒業生のお子様・お孫様が愛知工業大学へ入学した場合、入学後の申請で入学奨励金が支給されます。

■ 寄付金を受け付けています

名古屋電気学園では、寄付を受け付けております。寄付の仕方や寄付をしたことによる減免税等のメリットもありますので、詳しくは学園のホームページをご覧ください。
<https://www.nagoyadenki.jp/support/>

瑞若会
(愛知工業大学同窓会)
支部結成のために
必要とされる
手続き

1. 支部結成発起人(氏名、卒業年、学科)
 2. 支部同窓生氏名(氏名、卒業年、学科、連絡先等)
 3. 支部則原案(見本を作成していますので、参考にしてください)
 4. 支部本部となる連絡場所…連絡先、住所、電話番号記入
 5. 正式に支部として承認されましたら、支部則に基づき支部長、副支部長、会計その他の役員を本部に届ける
- ※職場支部結成については、10名以上の同窓生が在籍していること

本部、各支部の
HPへのアクセスは
こちらから!

瑞若会HP



北陸支部HP



関東支部HP



岐阜県支部HP



会報誌『みずわか』に関するお問い合わせ、お申込み、ご連絡は瑞若会（愛知工業大学同窓会）事務局まで

〒470-0392
豊田市八草町八千草1247

TEL
FAX

TEL 0565-43-1032
月～金 9:00～16:30
FAX 0565-43-1031

e-mail mizuwaka@aitech.ac.jp

●会員情報の変更は瑞若会HPより願いたします。 ▶▶▶ <https://aitech-mizuwaka.jp>

※ご登録いただいた個人情報は同窓会に関する案内および大学から依頼された案内の発送のみに使わせていただき、本人の承諾なく第三者に開示することはありません。なお、個人情報の取り扱いについては、HPに明記した瑞若会個人情報保護ポリシーに準じます。

瑞若会会報誌 MIZUWAKA (みずわか)

発行日: 2025年12月
発行: 瑞若会(愛知工業大学同窓会)
〒470-0392 豊田市八草町八千草1247
Tel.0565-43-1032 Fax.0565-43-1031
発行責任者: 津田紀生

編集: MIZUWAKA Vol.58 編集委員会
内田敬久、太田英伸(チーフ)、倉橋奨、小久保佳亮、五島敬史郎、長江智春、野澤英希、福澤和久、前田賢、松井良介、水嶋大輔、水野勝教、山本貴正、米坂篤人、石川真里子(事務局)
印刷: 株式会社アイカ
〒452-0834 愛知県名古屋市西区木前町35番地 Tel.052-503-0003 Fax.052-503-0030

<https://www.ait.ac.jp/>

MIZUWAKA

瑞若会会報 vol.58

■特集: 学生チャレンジプロジェクト

■2025年度役職就任のご挨拶

瑞若会
インスタグラム



本部・支部のHPは
裏表紙をご覧ください

学生たちの挑戦を バックアップする

「学生チャレンジプロジェクト」

大学独自の制度としてスタート

2001年からスタートした学生チャレンジプロジェクトは、ものづくりに挑戦する学生を応援する大学独自の制度です。学生たちがアイデアを形にするための実践的な機会を提供することで、学生の成長を促すことを目的としています。

学生が企画を考えて申請し、採用された場合には大学の支援を受けられます。具体的には、場所や開発費、材料費などの資金の他、コンテストやイベントなどへの参加にかかる費用を支援しています。

各賞の授与や成果報告会を開催

年度ごとに申請を受け付け、審査会を経て支援団体が決まり、2024年度は28団体、2025年度は29団体が選ばれました。

また、厳正な審査により下記5つの賞が授与されます。賞の選考にあたっては、各プロジェクトから提出された「事業報告書」「活動動画」「SDGs活動報告書並びに地域連携・社会貢献活動報告書」「対外活動確認書」をもとに、6項目10段階で構成される「評価シート」を使用して、審査委員6名が評価を付け、その総合評価で決定します。

<賞>

1位：最優秀賞 2位：瑞若賞 3位：後援会賞

愛名会賞：社会貢献活動の取組が最も優れたプロジェクト

特別賞：学長が選んだプロジェクト

プロジェクトの活動を発表する成果報告会は、パネル展示の他、担当者を置いた団体では来場者に直接説明するなど、具体的に活動を伝える機会となっています。

昨年に続き2回目となる成果報告会は、2025年4月3～8日に八草キャンパスで開かれ、2024年度の団体が発表しました。



2025年4月開催の成果報告会

学内にとどまらないプロジェクト活動

プロジェクトによっては、学外の大会やイベントに参加するなど活動の幅を広げており、大学や瑞若会の他に企業など学外の支援も受けているケースがあります。

「RoboCup プロジェクト」の「AIT-Rescue」は、5月に開催されたロボカップジャパンオープン2025のレスキューシミュレーションリーグに出場し、優勝しました。

「学生フォーミュラ日本大会EV参戦プロジェクト」は、多くのスポンサー企業とやり取りしながら、レーシングカーを製作して毎年9月に開催される学生フォーミュラ日本大会に参戦しています。



5月の大会に出場したRoboCupプロジェクトメンバー



9月の大会に出場した学生フォーミュラ日本大会EV参戦プロジェクト

をテーマにしたレスキューシミュレーションリーグと、サッカーをテーマにしたサッカーシミュレーション2Dリーグの世界大会および日本大会での優勝を目指している。

10.TGS2025 出展に向けたビジュアルデザインプロジェクト (S) (地・社) ▶

「東京ゲームショウ2025」への出展に向けて、ビジュアルデザインに特化し、ゲームコンテンツ内のCGやUIをはじめとしたデザインや、展示ブース看板・壁面やゲーム筐体などのディスプレイデザインを行う。

11. 新しいゲーム関連情報技術を取り入れたゲーム制作と東京ゲームショウ2025への出展 (S) (地・社) ▶

新しい情報技術を取り入れたデジタルゲームを制作して、「東京ゲームショウ2025」に出展する。

12.TGS2025に向けたコンテンツ開発とクロスメディア戦略プロジェクト (S) (地・社) ▶

マイコン制御やCGコンテンツなどの知識と最新のIT技術を活用したゲームコンテンツを作成し、「東京ゲームショウ2025」へ出展する。

13. 種子島ロケットプロジェクト ▶

昨年出場した「種子島ロケットコンテスト」のペイロード部門、インテリジェンス部門に加え、今年度は高度部門にも出場し、より良い成績を残せることを目標とする。

14. 全日本学生室内飛行ロボットコンテスト ▶

「日本航空宇宙学会」が主催する室内で飛行するロボットによる大会に向けて、昨年の機体の性能向上を目指し、独自の機構を考案することで、来年に繋げる。

15. 学生による空き空間の活用を通じたプレイスメイキング (S) (地・社) ▶

瀬戸市で開催される国際芸術祭との連携を図りながら地域再生に貢献すると共に、過ごしやすい空間をDIY等により創り出し改善していくことを目的とする。

瑞若会も支援しています！

瑞若会では「準会員サービス」として、2024年度から支援を始めました。支援により、新規学生のためのポスター作成や学生たちが研究成果を発表する「学生チャレンジプロジェクト成果報告会」開催が実現しました。

同時に優秀な団体には「瑞若賞」の授与を行っています。「瑞若賞」は、総合評価ポイント第2位のプロジェクトに授与しています。次年度からは、より一層の支援強化を進めていきます。



2024年度瑞若賞を授与される受賞団体



受賞団体による瑞若会での活動報告

2024年度の瑞若賞を下記プロジェクトに授与！

「SDGs視点で考える食品ロス削減活動～豊田市との連携から自由ヶ丘キャンパスまで～」

災害用備蓄食品を美味しく食べるアレンジメニューの開発※1や、自由ヶ丘キャンパスでのSDGs活動※2、豊田市環境部循環型社会推進課と共同でゴミ減量推進※3をはじめ、食品ロスに関わる様々な活動を行っています。

※1 大学祭で豊田市環境部循環型社会推進課（以下、豊田市）とともに、アルファ米を用いたお好み焼きを来場者に試食してもらい、災害用備蓄食品に関するアンケート調査を実施。イオンモールのイベントにも参加してメニューを披露

※2 自由ヶ丘キャンパスの屋上で生ごみなどから堆肥を作るコンポストを用いたオーガニック野菜の栽培や緑のカーテン作りを実施

※3 学生たちが豊田市のデータを分析して小学生向けの冊子を作成



SDGs AICHI EXPO 2023に出展



開発したメニューを実際に調理

■ 2025年度学生チャレンジプロジェクト ■

取り組み内容：(S) SDGs (地・社) 地域連携・社会貢献

1. 海洋調査ロボットプロジェクト (S) (地・社) ▶ タイヤにスクリューが内包されている水陸両用ロボットなど複数のロボット開発を目標としている。

2. 演算増幅器設計コンテスト(オベコン) 目指せ入賞プロジェクト (S) ▶ 大規模集積回路(LSI)設計技術を競う「演算増幅器設計コンテスト(オベコン)」入賞を目指している。

3. AIT 鉄人プロジェクト (S) (地・社) ▶ 二足歩行型ヒューマノイドロボット鉄人28号の実現を目標とし、今年度は大幅改良した鉄人22号を開発する。

4. JSBC2025 ▶ 橋の模型(全長約4メートル)の設計をし、「日本鋼橋模型製作コンペティション(Japan Steel Bridge Competition)」に参加する。

5. 人型二足歩行、走行 バトルホビーロボット及び四輪脚ロボットの研究開発 (S) ▶ 人型二足歩行ロボットを用いた対戦型競技「ROBO-ONE」への参加を目的とし対戦型ロボットの開発を行う。

6. スポーツのSNSマネジメント ▶ 野球や女子バレーボールチームのSNS戦略を調査・取材し、各プロスポーツにおけるSNS戦略のモデル化を試み、観客動員数などの効果との関係性を調査する。

7. 自律移動ロボット競技会への参加 ▶ 移動ロボット技術チャレンジ「つくばチャレンジ2025」のつくば市で実施される実験走行・本走行への参加を目的としている。

8. 白浜ソーラーカーチャレンジプロジェクト (S) ▶ ソーラーカーの製作および「白浜ECO-CAR CHALLENGE」への参戦を目的としている。

9. RoboCup プロジェクト (S) ▶ 「ロボカップジャパンオープン」の災害現場

16. 小型機関車の修復と製造 並びに循環型社会に向けての実証実験 (S) (地・社) ▶ 機械学科保有の小型蒸気機関車の解析・修復により技術を磨き、修復した小型蒸気機関車および新たに制作した小型電気機関車の環境負荷を評価する実験を行う。

17. 持続可能な未来へ向けての地域連携 -防災支援&ゴミ減量からグリーンキャンパスまで- (S) (地・社) ▶ 一昨年から続けている防災備蓄食の期限が近づいたものをおいしく食べるメニュー作りを継続して行う。

18. 廃車再生による競技車両製作と学生ジムカーナ大会出場への挑戦 ▶ 2台の廃車から1台の競技用車両を製作し、学生自動車連盟主催の「全中部学生ジムカーナ新人戦」への出場を目指している。

19. 進化計算コンペティションのためのモジュール開発 (S) (地・社) ▶ 前年度に開発したオープンソースの進化計算コンペティション用Pythonモジュールに改良を加えることでコンペティションの活性化と進化計算分野の発展に貢献する。

20. ET ロボコン2025 参戦プロジェクト (S) ▶ 今年度はモデル作成と走行性能の向上に力を入れ、ソフトウェアの優劣を競う「ET ロボコン2025」プライマリークラスに挑戦する。

21. 美浜6時間耐久レースへの挑戦 ▶ アルミニウムを削り出してトップブリッジやエンジンスライダーの作成を試み、優勝を目標に「美浜ミニバイク6時間耐久レース」へ出場する。

22. 体験型デジタルコンテンツの開発とWISS2025への挑戦 (S) (地・社) ▶ インタラクション技術を活用した体験型デジタルコンテンツを開発して「WISS2025」で発表し、「わくわくワールド2025」での展示も行う。

23. 歴史的空間再編コンペティション及び、U30復興デザインコンペの参加 ▶ 全国に点在する歴史的空間再編をテーマとした設計や実際の被災地を対象にした復興デザイン提案などを競うコンペでの入賞を目指している。

24. 2025 Ene-1 SUZUKA Challenge、2025 Ene-1 MOTEGI GP KV-40への挑戦 (S) ▶ 単三型乾電池を動力源とするバッテリーカーの製作および、製作したバッテリーカーでの「Ene-1SUZUKA Challenge」「Ene-1MOTEGI GP」両大会への出場、上位入賞を目的とする。

25. AIT アイディアクリエイターズ 社会人基礎力育成プロジェクト (S) ▶ 学生生活、地域、企業活動などにおける課題を学生自身が主体的に見つけ出し、それを解決するためのアイデアの創出および発表をする。

26. 余白空間を用いた多世代交流促進のための拠点及びまちづくり活動 (S) (地・社) ▶ まちに開かれた住民と学生の交流拠点および滞在のためのコミュニティスペースの創出をはじめとした活動を行う。

27. 中山間地域における魅力向上および活性化プロジェクト (S) (地・社) ▶ 関わりのある古民家宿&バルでらわきにおいて、学生や地域住民が主体となり企画やイベントの開催、施工DIY等に取り組むことで、中山間地域における課題解決や地域資源の活用などに取り組む。

28. 災害対応ロボット研究プロジェクト (S) (地・社) ▶ 災害現場や事故現場などの二次災害の発生が予想される危険地帯での調査・救助活動を行うためのロボットの研究および開発を目的としている。

29. 学生フォーミュラ日本大会EV参戦プロジェクト (S) ▶ 「第23回学生フォーミュラ日本大会2025」への出場と、それに向けたフォーミュラスタイルの小型レーシングカーの開発・製作を目的としている。

Message

学生チャレンジプロジェクトは、学生たちが各自の努力と仲間の協力で作り上げてきていることがよくわかります。一生懸命プロジェクトに取り組むことは素晴らしい、人間関係を構築する上でも、社会に出てもきっと役に立つと思います。

学生チャレンジプロジェクトへの支援を通して瑞若会へ興味を持っていただき、卒業後も同窓会のイベントにも参加していただければと思っています。同窓生の皆様もどうぞ応援していただきたいと思います。



小山 泰一 瑞若会会長 (50R)

OBOG 掲示板

開発した半導体デバイスを世界中の車に

小出 崇史 (R2EV)

仕事も家庭も両立！

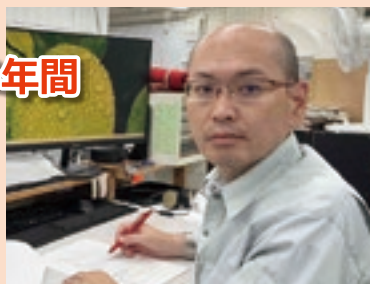


パワー半導体デバイスの開発がしたいと思い、2022年に東芝の半導体事業部である東芝デバイス&ストレージ株式会社に入社しました。所属は300mmウェハを使用した車載デバイスの開発設計部で、デバイスのCAD設計から試作品の作製、評価、量産移管まで一連の流れを担当しています。車載品であるため、高品質を維持しながら他社に負けない高性能、高歩留まりを達成するために日々精進しています。開発設計部は製品開発の中心的存在であり、研究部門から生産部門まで数多くの人たちと連携してリーダーシップを取る必要があるため大変なことも多いですが、自分の開発した製品が世界中の車に搭載されることにとてもやりがいを感じ仕事をしています。

また、プライベートでは第一子が誕生し、変化のある日々を楽しく過ごしています。育休制度や在宅勤務などライフスタイルに合わせた仕事の仕方を選択することができ、仕事も家庭も両立ができます。これからも世界中の車に搭載される半導体製品を開発していきたいと思います。

大学生との、ちょっと特別な半年間

鈴木 安土 (H15D)



充実した毎日過ごしています

本業のかたわら、本学で非常勤講師をしています。週1回・半年だけの講義なのに、準備や後片付けに思った以上の時間とエネルギーを使います。「先生ってこんなに大変だったんだ…!」と、恩師の顔が思わず浮かびます。

フィールドワークが中心なので、梅雨や熱中症対策に右往左往することもしばしば。気が付けばスマホの中は天気予報アプリでいっぱいです。

学生の一言に「たしかに!」と感心したり、「そうくるか…」と苦笑いしたり、学生たちと一緒に外で体を動かす時間はとても新鮮で、私にとっても充実したひとときになっています。

学生と同じように日焼けし、同じように疲れて、同じように笑っている。そんな半年間を送っています。

当たり前前の街並みに溶け込む石やタイル

野原 惇 (R3HT)

私は現在、関ヶ原石材株式会社広島営業所にて働いています。普段、生活する中で当たり前に通り過ぎている道路際の建物にも石やタイルが仕上げ材として多く使われています。しかし、それらの建物が完成するまでの道のりには必ずトラブルが発生しているのです。しかも、想定できることばかりではなく、できないこともあり多種多様です。それらのトラブルには様々な業者が協力して対応します。苦労を重ねて完成した建物を見たときには、少し誇らしげな気持ちになります。

最近では、備前市美術館の石施工に携わりました。地方では石の需要がかなり減ってきているため厳しい状況にありますが、今回は多くの数量をご使用いただいています。岡山市内からは車・電車共に1時間程度ですので興味のある方は足を運んでみてください。

石材・タイルの知識は奥が深いです。施工管理を行う中での効率を上げていくことや費用対効果を考えて行動することなど、課題はまだまだ山積みです。そのため、課題を一つずつ解決していくことを通し成長していきたいです。



普段は作業着で働いています。ときには材料搬入を手伝うことも…

社内向けのコンサルタントへ

佐藤 彰洋 (H28KK)

インフラを通じて地域社会を支える事業に魅力を感じ、株式会社トーエネックへ入社しました。

入社後、経理部署・営業部署を経験し、現在は社内向けシステムの開発および保守業務に携わる部署に所属しております。

各部署に在籍中、建設業経理士二級・基本情報技術者の資格を取得し、ただいまプロジェクトマネージャの資格に挑戦中です。

昨年度より、私が所属する部署では、システム開発の超上流工程から参画し、プロジェクト管理や主管部署及びベンダーとの調整を行う、いわゆる「社内コンサルタント」を目指す方針で動いております。私自身、要件定義以降の工程しか携わったことがないため、企画・構想工程を経験して「社内コンサルタント」となり、いち早く会社の働き方改革に貢献したいと思って日々の仕事に取り組んでいます。



プライベートでは家族ファースト!

生徒一人ひとりにあった工夫と教材を

山岸 雄太 (H30CB)



演奏会終了後に撮影。本番が無事に終わり、ほっとしています

理科を教える仕事をしたいと思い、1年の講師経験を経て愛知県教員採用試験を受け、平成31年度採用で特別支援学校の教員になりました。障害をもっている生徒に理科や生活する上で必要なことを教えています。大学の授業で行った様々な実験の経験を生かして、効果的で安全な生徒実験を行っています。

また、特別支援学校は、生徒数が一般の学校と比べて少ないので、生徒の個性や実態に合わせた教育をじっくり行えます。教材や教え方をどのように工夫すれば相手に伝わるか、相手が理解できるのかを考えるのが本当に楽しいです。特別支援教育を行う上では、他に専門的な知識も必要なので常に勉強の日々です。

休日は、大学で行っていた音楽活動を続けています。大学OBオーケストラや地域のアマチュアオーケストラで演奏活動を行っています。忙しい日々の中で、音楽はとても良いリフレッシュになります。

現在、教員生活も少し慣れてきて少しずつ責任ある仕事を任せていただくようになりました。今後も学び続ける姿勢を忘れずに頑張りたいです。

みずわか掲示板

関西支部

10年ぶりの合同視察

～おおさか万博&旧三井家下鴨別邸～

2025年7月11日(金)・12日(土)の2日間、「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」と京都の重要文化財「旧三井家下鴨別邸」の視察を企画しました。

関西支部での企画は、2014年の「東京スカイツリーと東京タワーの比較視察」以来10年ぶりの合同視察となりますが、小山泰一会長(50R)を含む、関東、岐阜、三重、中・四国、関西支部の有志による総勢50名のご参加を賜り、楽しい視察となりました。初日は「旧三井家下鴨別邸」内で杉野丞名誉教授(52A)にご講演をいただき、重要文化財や歴史・文化に関する理解を深めました。夜は京の人々に古くから親しまれてきた高瀬川沿いの二条苑で懇親を深めました。



様々な支部から集まった参加者

2日目の万博では会場全体を自由にまわりましたが、その規模や来場者数に驚きながらも楽しく過ごすことができました。全員で入館できたのは「三菱未来館」のみですが、入場前には念願のブルーインパルスのフライトも眺めることができて、一同感動しました。3回目となる合同視察はいつに



なるかと、気にしながらのツアーでもありました(笑)。

支部長
信藤 勇一(60A)

ブルーインパルスと三菱未来館

電気学科

同窓生懇親会を開催

2025年6月28日(土)にホテル名古屋ガーデンパレスにおいて、電気学科同窓生の懇親会が開かれました。

卒業生24名に加え、同窓会事務局から津田紀生事務局長代理(H4R)、岡田宏行事務局次長(H6R)、内田敬久事務局次長(H7R)にご参加いただきました。

年代を超えた同窓生の交流が行われ、特に20代・30代の若手の同窓生とベテランの方々が語らう姿は、これぞ同窓会の醍醐

不器会

2025講演会・名刺交換懇親会

2025年4月19日に名古屋ガーデンパレスにて開催した「建築同窓会不器会」。建築の卒業生の皆さんが「同窓会の財産」というコンセプトで、できる限り多くの同窓生を繋ぐことを目的に、執行部の11名でいくつかのイベントを企画しました。

今回は、卒業生の中で活躍されている4名の方をお招きし、講演を通じてそのご苦労やご活躍ぶりを知り、さらに懇親会では名刺交換するなど、それぞれが人脈を繋いでゆこうという企画です。1回目なので、当初はどれだけの卒業生が集まるのか心配されましたが、「やってみよう!」という心強い意見もあり、執行部一同、気持ちを一つにして、個々の声がけや大学からの案内などを行いました。参加者数を日々追跡していたことが今では良い思い出です。結果、目標人数を上回ることができ、予定以上の会にすることができました。

一般的に愛工大卒業という学歴はあまり口にしません、多くの卒業生が日本中で活躍しています。年齢も新入社員から引退間近な方まで行きわたっている時期に達しています。同窓会は今後も、その人脈を掘り起こし繋ぐべく、活動を次世代にも伝え、愛工大の礎になってゆくことを目指そうと思います。今後ともよろしくお願いします。

梶田 光太郎(52A)



盛大に行われた建築同窓会不器会



様々な支部から集まった参加者

味とを感じる場面でした。また、当日出席した瑞若会奨学生2名には、先輩方から様々な激励の言葉や前途を祈る言葉が掛けられ、本会の重要性と歴史の長さを感じました。 水嶋 大輔(H24ER)

就任のご挨拶

2025年度に各役職に就任された同窓生の先生方より、新たなお立場での抱負と大学の現状と未来、さらに瑞若会への期待を語っていただきました。



山田 英介顧問 (46C)

教学センター長、研究科長、副学長として大学の運営に携わり、今年度から顧問として部署の枠から一步引いて大学全体を俯瞰する見方をしなければと思っています。学内外の関係性、時代の変化、そして大学が社会に果たすべき責任について、より長いスパンで本質的な視点から考えるようになりました。

大学を取り巻く環境変化は大きく、特に究極の少子化問題やデジタル技術の急速な進展により、教育においては、「知識を教える」から「学ぶ力を育てる」、さらに「学修者本位の教育」への転換が求められています。

学生が主体的に問いを立て、多様な価値観の中で考え、行動する力を養うことが、これからの高等教育の本質だと考えています。

また、大学は社会と共にあるべきで、地域との連携、産業界との協働、教育・研究ネットワークの構築など、キャンパス外に開かれた大学であることが不可欠です。変化の時代を生き抜き、次の世代に誇れる学びの場となるよう、少しでも支えることができればと思っています。

瑞若会が、卒業生と大学、さらに在学生とをつなぐ架け橋として、大学のサステナブルな発展に欠かせない役割を担うよう願っています。それには、同窓生が持つ資産・資源を生かすネットワークの構築と、それらの活用によって大学の教育・研究活動や地域連携にも大きく貢献できるようなネットワーク作りを期待しています。



石井 成美副学長 (58K)

今までとは異なり、大学の立場に立った判断と発言ができるよう心掛けるようになりました。

ご承知のとおり、少子化が進み、大学全入時代となり、多くの大学において学生の確保が難しくなっております。現在は大学が学生を選ぶのではなく、学生が大学を選ぶ時代であり、選ばれる大学となるため、教育だけではなく、学生のあらゆる満足度を高めることが必要になっていると考えます。

瑞若会の事務局次長として6年、事務局長として3年の計9年間、事務局運営に携わりました。その間、コロナ禍での総会や理事会のリモート開催など、初めて尽くしの同窓会活動を経験しました。同窓会の60周年記念イベントを大学のキャンパスにて開催できたことは大変印象深い思い出です。

瑞若会には、活動にご尽力いただいている諸先輩方に加え、若い会員の方々の参加を促す活動を企画していただけることを期待します。また、準会員(学生)と同窓生が交流する場をもっと増やしていただけると良いかと思っています。

教育の原点は、学生個々のやる気とチャレンジ精神にあると思います。学生のウェルビーイングを高めるため、向上心を引き出し、そして励まし応援することが大切であると考えます。その実現に向けて瑞若会として「人・もの・金・情報」の観点からあらゆるご支援とサービスをさらにいただけると幸いです。



北川 一 敬工学部長 (H2M)

運営会議、月一の大学協議会など各種会議に出席し、大学内外の時事状況を含め、色々な情報に触れる機会が増えました。

学生数とレベルを維持しながら大学を存続することは大変かと思います。愛知工業大学のブランドを落とさず、教職員一同努力し、学生目線の対応とそれ以上に教職員の学生指導が必要かと考えております。

瑞若会については、学生への学会発表の機会の推進、学生チャレンジプロジェクト、海外留学への継続的な支援をいただけるよう願っています。

また、可能であれば、教員の研究活動の支援、国内・海外留学の支援もいただけると良いかと思っています。研究力維持は、国内・外の共同研究で養われるでしょうし、学生・院生への起爆剤になるかと考えております。

「愛知工業大学を無くさない」ために、必要なことや施策を考えサポートすることも、同窓会の存在意義の一つであり、役割かと思っています。入学、就職、卒業、卒業後の支援を含めて、色々な活動を活発に実施することと期待しています。

在学生・卒業生・教職員を含めて、「同窓会って重要なのね」と思う活動が必要だと思っています。

同窓会で考えた施策があれば、ご協力いたします。

フェンシング部

部員：15名
主将：山本瑛未瑠(経営学科4年)

瞬時の判断で勝負

創部50年以上の歴史あるクラブで、創部から関西学生リーグ男子1部に所属しています。フェンシングは常に攻防が入れ替わる競技で、一瞬の判断が勝敗に繋がり、その判断を生かすための技術力も必要になります。部員一人ひとりが意識を高く持ち、判断力、技術力向上のため日々練習に励んでいます。また、大学内にある合宿寮で4年間生活をともにすることにより、練習だけでは得られないチームワークを培い、総合力を高めています。



今年度の関西学生フェンシング選手権大会では団体でエペが3位に入賞し、全種目で全日本学生フェンシング選手権大会の出場権を得ることができました。優勝を目指し練習に励んでいます。応援よろしくお願いいたします。



ラグビー部

部員：28名
主将：平井桐悠(経営学科4年)

人間的な成長も目指す

ラグビー部は、Aリーグ昇格という揺るぎない目標を掲げ、日々チームの向上と個人のスキルアップに全力で取り組んでいます。練習では、基礎を徹底しつつ、新しい技術や戦術にも果敢に挑戦しています。辛いことや困難に直面しても、部員全員で支え合い、決して諦めない強い意志で乗り越えます。この地道な努力こそが、目標達成への唯一の道だと信じています。



また、技術向上だけでなく、ラグビーを通じた人間的成長も目指します。仲間への感謝、規律の遵守、そして応援してくださる方々への感謝の気持ちを常に忘れず、愛されるチームになります。最高の仲間と最高の思い出を作るため、目標達成のため、今後も精一杯励んで参ります。熱い応援、よろしくお願いいたします。



弓道部

部員：42名
主将：細田暁生(建築学科2年)

伝統を次の世代へ

月・水・金・土曜日の週4日、技術の向上はもちろん、礼節や精神面の成長を大切にしつつ稽古に励んでいます。今年度は、インカレ女子個人で7位入賞を果たし、団体・個人ともに毎年全国大会への出場を続けています。日々の練習では切磋琢磨しながらも温かく支え合う雰囲気の中、上下の繋がりを大切にしています。

先輩方が築いてこられた伝統を受け継ぎ、後輩たちにもその精神を伝えながら、より高い目標を目指して精進していきます。これからも誇れる愛工大弓道部であり続けるため努力を重ねて参ります。今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。



写真は現在所属している部員が通常36cmのところ8cmの的に3連続的中させた画像です。



自動車競技部

部員：35名
部長：内田晏大朗(情報科学科2年)

実績を積み重ねて

主な活動としては、部車の整備や改良を通じて、ジムカーナ競技大会への出場・成績向上を目指した取り組みを行っています。

整備作業においては、日常的なオイル交換・タイヤ交換・ブレーキのエア抜き・各部の増し締めなど、基本的な整備を部員自身で行っています。必要に応じて、クラッチ交換・ミッションのオーバーホール・ドライブシャフトの取り外し修理など、より高度な整備作業にも取り組んでおり、実践的な技術力を日々養っています。

競技面では、全日本学生ジムカーナ大会に過去10年間連続出場しており、着実に実績を積み重ねています。



社交ダンス部

部員：4名
主将：細江耕平(機械学科4年)

少人数でも全国規模の活躍

私たちは愛知学院大学、名古屋外国語大学、名古屋学芸大学と合同で水・土曜日に活動していますが、愛知学院大日進キャンパスの練習場には毎日のように自主練に来る部員が後を絶ちません。部員は学連の組織に所属し、主に中部学連主催の試合に出場しています。月に何度か遠征する機会があり、全日本学生競技ダンス選手権大会や西日本の選手権など全国規模の大会にも出場しています。

部員はまだ4名ですが、中部チャンピオンや中部ファイナリスト、全日規模の大会でトップ10などの輝かしい成績を取っています。大会だけでなく中部の大学全体で運動会やダンパなどのイベントもあり、様々な大学との交流を深めています。

写真は種目別戦出場者(前列で賞状を持つ女性が愛工大生)と、全日本学生競技ダンス選手権大会(男性が愛工大生)のものです。



管弦楽団

部員：49名
団長：岡本拓(情報科学科3年)

年1回定期演奏会開催

多くの管楽器や弦楽器、打楽器を用いてクラシック音楽を演奏しています。ここ数年部員数も増え、中学や高校などで経験を積んできた人もいれば大学から始める初心者もたくさんいます。

定期演奏会を年1回開催しており、2025年度の第28回定期演奏会には482名ものお客様にご来場いただき、その数は過去最高記録を更新いたしました。日々の練習を重ねてきた成果を多くのお客様に見いただけたこと、部員一同誇りに思っております。

来年は9月21日に愛知県芸術劇場コンサートホールで第29回定期演奏会が行われます。一人ひとりが日々の練習で努力した成果を



ぜひ一度足を運んでご覧ください。今後とも皆様の変なめご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

自動車業界で活躍できる 人材を育てる

工学部機械学科 伊藤 章教授

専門は自動車関連の技術

教員になる前は企業で車両運動制御などの自動車の制御や自動運転などを専門にしていた伊藤先生。「企業派遣により名古屋大学大学院で社会人博士として研究をし、その縁で名古屋大学の教員となり、2024年度に愛工大へ来ました」。

車両運動制御は、企業から10年以上続いている研究で、京都大学の先生や企業と共同で進めています。「走行中の自動車が安定した運動をするためにタイヤの制駆動力を制御するものですが、マルチエージェント (Multi-Agent) 手法※を使って研究しています」。多輪車両への応用を目指し、運動制御により1つのタイヤがダメになっても他でカバーできるのが目標とか。

研究室では、実験用のミニカーを製作してデータをとっています。それが成功したら企業の実車で実験を行う予定だと言います。

レーシングカートを使用した研究

先生が主宰する「先進ビークルシステム研究室」には、学部生11名、院生3名が所属しています。

車両運動制御の他にも異なるテーマで複数の研究を進めており、学生の関心が高いテーマの一つが「人間の運転技能を反映した軌道速度計画」です。

ドライバーの姿勢が車両挙動へ与える影響を調べており、実際にレーシングカートを操作してドライバーの姿勢のデータを取得し、軌道速度計画手法を検討します。将来的に自動運転を実現することを想定してデータをとっていると話します。

「学生たちは車を改造し、運転もします。もともと車に対して興味のある学生が多いですね」。

AIを活用した研究を進める

企業と共同で行う「データ駆動型自動運転プランナ」の研究は、運転者が制御していたステアリング、アクセル、ブレーキなどをAIが制御することを目的としたものです。ChatGPTをはじめとする生成AIも活用しながら研究を進めています。



「膨大なAIの学習データが必要になります。シミュレーターでデータを取り、計算機に入れるのは学生たちが行っています。研究室に来る学生の半分以上がAIの習得を目標にしています」。

「膨大なAIの学習データが必要になります。シミュレーターでデータを取り、計算機に入れるのは学生たちが行っています。研究室に来る学生の半分以上がAIの習得を目標にしています」。

講義にもAIの理論を取り入れて

AIは身近になり、無視できない存在となりつつあります。愛工大でも2025年度からAI関連の「知的情報処理」の科目ができ、先生が担当しています。

「従来の研究方法にAIをプラスすることで失敗の可能性や不具合が早くわかり、使い方次第では研究のスピードは上がります。ただ、AIを活用するためには地道にデータをとる必要があるので、学生には実際のデータをとる大切さを教えています」。

また、AIと実物の関連性を理解することも必要です。「パソコンの中で完結している学生が多いと感じており、実際にモノに触れてみるように指導しています」。

企業出身の強みを生かして指導

自動車関連の研究では、最終的に実車による試験や評価が必要です。そのためには企業の協力が欠かせませんが、コネクションがあるのは強みだと言います。

また、企業との打ち合わせに学生たちを同行させることもあります。「先方のエンジニアと話をするいい機会になりますから…」。

就職先は自動車業界が多いとか。先生自身も同じ業界で長年仕事をし、採用面接にも関わっていた経験があります。「業界の重要性などを伝えながら、企業が求める人材や即戦力になる人材を育てるように心掛けています」。

※複数のAIエージェントが分担・協力し合い、より複雑なタスクや問題解決に対応できる仕組み

Close-up Laboratory



学生時代の研究は耐震と維持管理

岩田先生は、高専5年時から橋梁など構造物の耐震について研究してきました。その後、岐阜大学の複合構造研究室へ入り、さらに研究を深めました。

耐震の研究は、2024年に愛工大に来てからも続いており、今年で7年目になります。「制震ダンパーの高機能化・実用化をテーマにしていますが、必要なデータがほぼとれたので、数値解析をし、あと2~3年でまとめてあげたいです」。

在学中にオーストラリアの大学へ1年半ほど留学し、維持管理の研究をしていた先生。「最近は高度成長期に造られた多くの構造物が老朽化してきて、構造物の維持管理の需要が増えています」。

維持管理に必要なデータベースを構築

耐震も維持管理もベースは振動工学にまつわるもの。「今後は耐震の研究も進めつつ、維持管理の研究テーマを中心にしていくつもりです。留学先では実際の橋梁の振動を計測し、振動特性の変化から損傷の進行具合をデジタルツインで予測し、壊れる前の処置を考える研究をしていました」。

今、進めているのはコンクリートや鉄から造られている橋にフォーカスした橋梁の耐震と維持管理に関する研究。構造物を使い続けるには予期せぬ大地震に備えて耐震性能を高めることはもちろんのこと、損傷を検知し、壊れる時期を予測して対応しなければいけません。「そのために必要なデータベースを作成しています。ゆくゆくはAIを活用して進めたいと思っています」。

産学連携で進めている品質管理の研究

今年からスタートした品質管理の研究は、生コンクリートの品質管理に役立てるデータベースの構築が目的です。「生コンクリートの組合から提供されたデータの解析を進めています。土木技術者が減っている中、AIを活用して品質の判断をします。将来的には現場へ

実験から得る知識や経験を 大切にして指導

工学部社会基盤学科 岩田 隆弘助教

のフィードバックを目指しています」。

また、メーカーに鉄筋コンクリートより高い強度のプレストレストコンクリートの提供や試験体製作の協力を受け、実験のアイデアを共有しています。「試験体を作る過程では学生を連れて工場へ行き、現場を見せるようにしています」。実験データを計測し、共同研究の成果として今年度中に論文発表するそうです。

実験を通して得られるものは多い

岩月栄治教授と主宰する「材料研究室」に所属する学部生17人のうち9人を岩田先生が指導。4・5月は基礎的学習、6月は文献調査、7月から研究計画と講義で習ったことを応用した実験に取り組みます。

「テーマは学生それぞれ違いますが、試験体製作や実験などは互いに協力し全員参加で行います。テーマの担当者が現場監督の役割を担います。全体をまとめる経験は、社会に出ても役立つはずです」。

実験は準備とデータをとる過程も大事ですが、それで終わりではなく、データ分析も重視しています。

学生の自主性を尊重して指導

自身の海外経験から、学生の自主性を重視し、相談しやすいフレンドリーな雰囲気心を掛けていているという先生。実験プランやスケジュール管理は学生に任せていますが、失敗の報告は大事にしていると言います。

「実験に失敗はつきものですが、失敗が新しい発見に繋がります。失敗を予測して管理するのではなく、大事故に至らないよう注意しています。土木は経験工学の世界ですから…」。

実験で使う試験体も、コンクリートの配合は学生が決め、図面は学生が描いて外部に発注しています。先生は学生時代に鋼桁の溶接をして試験体を作った経験もあるそうで、来年は学生たちと鉄筋コンクリートの柱を造る予定だとか。「自分で造ると愛着がわきます。ただ、精度は落ちるのでデータに影響しますが、その原因を考えるのも大事だと考えています」。



データの重要性をアドバイス

研究用レーシングカートを整備



コンクリートの圧縮強度試験

実験結果のデータを検討

入試 information

同窓生特別入試で愛工大へ！

開学50周年記念事業の一環で始まった同窓生特別入試は、同窓生のご子息のために設けられた制度です。小論文と面接による選考が行われます。入学金の優遇制度もありますので、ぜひ、ご利用ください。詳しくは入試広報課へお問い合わせください。

■同窓生の子を対象とする特別入試(2026年度入試 実施スケジュール)

学 部	出願期間 (必着)	試験日	合格発表	入学手続
工 学 部 経 営 学 部 情報科学部	11/1(土) 11/4(火)	11/8(土)	合格発表 12/1(月)	入学金…12/11(木) 授業料等 ……………1/8(木)

2025年度 同窓生の子を対象とする特別入試 入試結果									
		志願者数	合格者数			志願者数	合格者数		
電 気 工 学 専 攻				機 械 創 造 工 学 専 攻				経営情報システム専攻	
電子情報工学専攻				土 木 工 学 専 攻				スポーツマネジメント専攻	
応 用 化 学 専 攻				都 市 デ ザ イ ン 専 攻				コンピュータシステム専攻	
バイオ環境化学専攻				建 築 学 専 攻		 		メディア情報専攻	
機 械 工 学 専 攻				住 居 デ ザ イ ン 専 攻				合 計	
								10名	
								6名	

多彩な入試制度を用意しています！

★早めの合格を目指すなら ▶ **学校推薦型選抜**
★今からでも間に合う ▶ **一般選抜** (下記日程) 1月以降の出願で受験できます。

スポーツ推薦

女子学生推薦

一般推薦

工学部推薦

経営情報システム推薦

■今からでも間に合う入試日程

※学校推薦型選抜以外の入試は、すべて締切日消印有効です。

入試区分	入試の名称	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日
前期日程	前期日程 A方式	1/6(火)～20(火)	1/27(火)	本学(八草キャンパス・自由ヶ丘キャンパス)、豊橋、一宮、岐阜、四日市、津、浜松A、静岡、富山	2/10(火)
	前期日程 Aw方式		1/28(水)	本学(八草キャンパス・自由ヶ丘キャンパス)、豊橋、一宮、岐阜、四日市、津、浜松A、静岡、富山、金沢、松本、岡山、福岡	
	前期日程 M方式(マークセンス式)		1/29(木)		
	共通テスト利用入試		共通テスト1期C方式(3教科利用)	本学が課す試験はありません。	2/17(火)
	共通テストプラス		共通テストプラスA方式 共通テストプラスM方式	独自の試験はありません。	
後期日程	後期日程 M方式(マークセンス式)	2/16(月)～25(水)	3/4(水)	本学(八草キャンパス)、豊橋、岐阜、四日市、津、浜松B	3/13(金)
	共通テスト利用入試		共通テスト2期C方式(2教科利用)	本学が課す試験はありません。	3/19(木)
	共通テスト利用入試		共通テスト3期C方式(3教科利用)		

[入試に関するアレコレ、ここでチェック！ ▶▶▶ <https://www.ait.ac.jp/examinee/>]

2025オープンキャンパス開催！



全体説明



女子学生相談コーナー



在学生による専攻相談コーナー



各学科によるデモンストレーション



自由ヶ丘キャンパス(デモ)



自由ヶ丘キャンパス(イベント)

2025年7月12日(土)、13日(日)の2日間にわたり八草・自由ヶ丘の両キャンパスで、オープンキャンパスを実施し、3980名(高校生2221名、保護者1431名、その他328名)にご来場いただきました。開場前から行列を作るほど多数の方にお越しいただき、盛況に終えることができました。

熱中症対策として、開催時間は8時30分～13時00分までとし、ドリンクを無料配布しました。

今年度、「女子学生相談コーナー」には例年以上に多くの女子生徒が訪れ、現役女子学生が質問に答えていました。入学前の不安や心配ごとなどを尋ねられ、自身の経験をもとに相談者に寄り添って学校生活や学習内容を伝える姿が印象的でした。

他にも「大学概要説明」「入試説明・推薦入試対策講座」「保護者説明会」「入試相談コーナー」「学生生活相談コーナー」「在学生による専攻相談コーナー」を実施し、参加した高校生や保護者の方々は、熱心にコミュニケーションをとったり、話を聞いていたりしていました。

各学科・専攻の内容や研究の様子がわかる「専攻デモンストレーション」では、実験機器・ポスター等の展示だけでなく、体験型のイベントや模擬授業を実施し、楽しみながら大学を知ってもらうことができました。

来場者からは「キャンパスがとても広く、学生の雰囲気がとても良い印象だった」「在学生の対応が良かった」「面白そうな研究が多かった」といった声をいただきました。

自由ヶ丘キャンパスでは、各教員による研究・授業内容などの紹介ポスター等の他に「地域創成」をテーマにした企画の展示がされました。地域に開かれた大学の雰囲気に来場者の方々からは好印象の感想が聞かれました。

入試に関するお問い合わせ

愛知工業大学・入試センター TEL 0120-188-651(入試広報課) FAX 0565-48-0024 e-mail koho@aitech.ac.jp

information 就職



工学研究科 博士前期課程材料化学専攻
岩崎 由華乃さん
株式会社イノアックコーポレーション 内定



工学研究科 博士前期課程機械工学専攻
瀬戸 遼太郎さん
株式会社豊田自動織機 内定

■就職活動はどのような形で行いましたか？

岩崎 週1回以上、キャリアセンターに通いました。エントリーシートの記入や添削、模擬面接はもちろん、様々な相談にのってもらいました。うれしかったことやつらかったことなど何でも話すことができて、そのうちに自分に自信が持てるようになったのが良かったです。

また、キャリアセンターの院生向けプログラム「大学院生対象就職力強化支援プログラム」に参加し、担当講師にも話を聞きました。

瀬戸 自分も院生向けプログラムに参加し、担当講師からアドバイスを受けました。大手企業採用担当の経験もあり、他大学の学生のエントリーシートも見ていたので、比較して足りない部分を指摘してもらうことができました。おかげで理系学生として必要な要素を盛り込むことができたので良かったです。

研究室の先生にもお世話になりました。他にも企業からみえた先生もいらっしゃるのので、企業が求める人材や面接で聞きたいことなど具体的に伺いました。ガクチ力(学生時代に力を入れたこと)もただ羅列するより、どう考えどう進めたかを伝えることが重要と教えていただきました。

■就職活動準備期にインターンシップに参加しましたか？

岩崎 院生1年目の夏に情報を調べ始めました。業界や企業も決まっていなかったの、食品や化学メーカー、環境関係など様々な業界について知れた

学内の支援を積極的に利用して就職活動

いと思い、1dayインターンシップに参加しました。

瀬戸 自動車業界で希望する企業はありましたが、他も知らなかったので、1dayインターンシップを利用し、4社訪問しました。訪問先の企業でグループワークがあり、実際の業務における課題解決に取り組んだことで、業界の課題を知ることができて勉強になりました。また、同じ業種でも企業の雰囲気によって業務の進め方も違うと感じました。

岩崎 私もグループワークでは、良い刺激を受けました。他の学生が課題解決に必要な情報を自分以上に持っていたのを目の当たりにし、自分の足りない部分に気付くことができました。

■企業説明会には参加しましたか？

岩崎 オンラインですが、10社以上の説明会に参加しました。その中で興味がある企業のインターンシップに参加するようになりました。

学内で開かれた「AIT業種・仕事研究フェア」(瑞若会主催)にも参加しました。インターンシップでお世話になった企業も参加していたので、挨拶もかねてブースを訪問しました。私のことを覚えてくださっていたので、好印象を残せたような気がしています。

瀬戸 学部生のときに参加した企業説明会では、他の参加学生の質問を聞いて就活に対する意識の高さを感じました。それが院生になってからの就活で大いに役立ちました。

企業説明会の中でも、学内の説明会には有名企業や卒業生の



いる企業が多数出展していることもあり、参加しやすいと思います。学外の大きな会場では手を挙げるだけでも勇気がいりましたが、ここではより積極的に質問ができ、業界や仕事内容を深く知ることができました。

インターンシップ受け入れのお願い

学生が就業体験を通じて、自己の職業適性を考え、高い職業意識を育成し、自主性・独創性と実社会への高い適応能力を身につけるため、独自にインターンシップ制度を導入しております。

学生にとって、将来の進むべき道を具体的にイメージできる機会として本学インターンシップ制度にご理解ご協力を賜り、多くの学生を受け入れていただきますよう、お願い申し上げます。

インターンシップの詳細につきましては、こちらをご確認ください ▶ <https://www.ait.ac.jp/career/for-companies/usage/>

卒業生数1000人以上の大学

2025年春卒業 全国250大学実就職率ランキング 全国1位！

3年連続

2025.7.24大学通信ONLINE

実就職率 全体	工学部	経営学部	情報科学部
99.2% ※1	99.2% ※1	98.6% ※1	99.4% ※1

学生自身の努力はもちろんのこと、OB・OGの皆さんの活躍を根拠とした「名古屋電気学園愛名会」会員企業によるバックアップや教員の熱心な就職指導、キャリアセンターの様々な支援プログラムなど、学生一人ひとりの主体的な挑戦を促す総合的なキャリア支援体制によって、3年連続の快挙につながりました。

瑞若会主催 AIT業種・仕事研究フェアを実施

2025年11月29日(土)・30日(日)に瑞若会と名古屋電気学園愛名会との共催で「AIT業種・仕事研究フェア」を開催しました。本学卒業生が活躍するリーディングカンパニーや様々な地域性を持つ地元優良企業が参加し、学生自身の専門性や人間力を生かすフィールドが多岐にわたることを直接的に伝える機会となりました。昨年度に続き、インターンシップに関心のある学部1、2年生の参加も多く見られたほか、今年度からは瑞若会による支援の一環で第二新卒での就職を希望する本学卒業生も参加するなど、盛況のうちに終わりました。

一括で求人票の登録ができます！

卒業生の方が求人検索を利用できます！

詳しくは「卒業生就職支援」のページをご覧ください。

URL <https://www.kyujin-navi.com/uketsuke/>

URL <https://www.ait.ac.jp/career/for-graduate/>

就職に関するお問い合わせ

キャリアセンター TEL 0565-48-4655(直) FAX 0565-48-6140 e-mail syusyoku@aitech.ac.jp

インターンシップのお問い合わせ

キャリアセンター・インターンシップグループ TEL 0565-48-4680(直) FAX 0565-48-6140 e-mail inship@aitech.ac.jp

2025年3月に退職された教員



北出 幸夫教授
2016年4月～



福森 健三教授
2018年4月～



中村 吉男教授
2016年4月～
2025年4月～[特]



松室 昭仁教授
2005年4月～



加藤 里美教授
2014年4月～
2025年4月～[特]



張 新力教授
2006年4月～
2025年4月～[特]



川端 元子教授
2008年4月～

[特] 特命教授

■ゲノム創薬を開設して

本学に赴任してまず強く印象に残ったのは、学生の皆さんの爽やかな挨拶です。全国でもトップレベルの就職率を誇る大学であることに、深く納得させられました。

新設にもかかわらず、次第にゲノム創薬化学研究室の趣旨に沿った就職先が見つかるようになってきました。最後の大学院生は、医薬品代謝物の検出や同定を行う企業の研究職に就くことができました。「創薬」をキーワードとする職種を本学に根付かせることができたと感じております。

末筆ながら、愛知工業大学のさらなるご発展と、教職員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

北出幸夫

■愛知工業大学での22年間を振り返って

2002年度からの15年間は非常勤講師として、また2018年度からの7年間は応用化学科教員として、長きにわたりお世話になりました。この間、企業での実務経験を生かし、「ものづくり」に不可欠な現地現物の視点から、学生の教育・研究活動に尽力いたしました。

特に印象深いのは、2020年度からのコロナ禍における制約された研究室環境下で、4年生の卒業論文、大学院生の修士論文、学位論文等の作成を支援できたこと、そして昨年11月には学生さんたちと学内駅伝大会に参加できたことです。

最後に、今後の大学受験者数減少を鑑み、愛知工業大学が学生にとってより一層魅力ある大学として発展していくことを心から願っております。

福森健三

■人生の節目 -退職にあたって-

人生における節目には色々ありますが、私にとって大きな節目は、愛知工業大学に入学し、土質研究室（現地盤研究室）に配属され、社会の荒波に向かって船出したこと。そして、研究室で学んだ専門知識を生かし、建設コンサルタントエンジニアとして34年間実務に携わり経験を積んで、2016年4月より教育・研究・社会貢献を旨とした仕事に就いたことです。この間、卒業生や大学院生と共に「土砂災害の予知と対策」「産業副産

物や災害廃棄物の地盤材料としての有効活用」などのテーマに取り組み充実した教員生活を送ることができました。また、ゴルフ部顧問・監督として全国大会に引率し、学生の奮闘を目の当たりにしてゴルフは心の格闘技であると教えられたこと。そして、二人のプロゴルファーを輩出できたことは忘れられない思い出です。

最後に、充実した教員生活を支えていただいた皆様に感謝申し上げるとともに、愛知工業大学の益々のご発展と教職員の皆様のご健勝を祈念します。

中村吉男

■感謝とともに歩んだ11年間

学生指導で若者の考え方に触れ、成長を見守ることができたことは大きな喜びでした。就職専門委員として企業のニーズや採用プロセスを知ること、学生指導や授業内容の改善に役立てることができました。

サークル活動では、企業や行政とのコラボを通じて学生の楽しむ姿を見られたことが印象的でした。訪中国で中国を訪れ、異文化に触れる機会を得たことも忘れられません。これらの経験は、私の人生において大きな財産となりました。

このような教員生活を支えてくださった全ての人に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

加藤里美

■幸運に思う教員人生

「1980年代、中国では空前の日本ブームがあって、日本語の学習人口は英語に次ぎ第二位となりました。日本でも人口の8割以上が中国に好感を持っていました。私はそのときに日本に留学、多くの方に助けていただきました。

ところが、日本人の8割以上が中国に好感を持っていない今、私が教員になり、好感を持っていない皆さんにどうやって中国のことばと文化を教えればいいか本当に困っている」という枕話をしたら、学生たちは大笑いし、そして「先生好き」と大声で言った学生もいました。私の授業的一幕であった。

日中関係の変化の激しい時代に愛工大の中国語の教員になったこと、素直な学生たちに出会ったことを幸運に思っています。

張新力

瑞若会特別賞を授与しました！

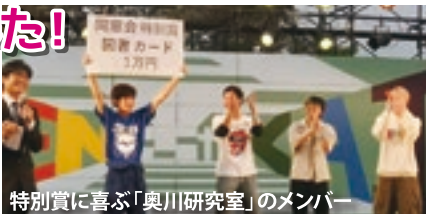
10月11日に開催された大学祭「工科展」において、災害やインフラに対する点検調査ロボットの成果報告と展示を行った「奥川研究室（一般の部）」に瑞若賞特別賞を授与しました。

また、10月31日に行われた駅伝大会では、それぞれの部門で各1チーム、計3チームに瑞若賞特別賞を授与しました。

★オープンコースの部「teamらっきいとりがぁ」

★学生・教職員交流の部「望む内内定!!」

★選手権の部「DEMO SKI」



特別賞に喜ぶ「奥川研究室」のメンバー



駅伝大会で全力疾走する各チーム



学内外から多くの人を訪れた工科展会場



オープンコースの部の表彰式
(右が特別賞受賞チームの代表)

事業報告(令和7年1月1日～令和7年12月31日)		
	本部の会議	各種行事
1月	令和6年度 第11回事務局会議(1/16)	
2月	令和6年度 第12回事務局会議(2/20) 令和6年度 第13回事務局会議(2/27)	
3月	令和6年度 第14回臨時事務局会議(3/24) 令和6年度 第6回総務常任委員会(3/27)	■令和6年度 卒業式「瑞若賞」贈呈(3/23) 卒業生に記念品配付(3/23) 学生チャレンジプロジェクト「瑞若賞」贈呈(3/23)
4月	令和7年度 第1回臨時事務局会議(4/1) 令和7年度 第2回臨時事務局会議(4/25)	■令和7年度入学式(4/4) ▲愛知県私立大学同窓会連合会三役会(4/15) 名古屋ガーデンパレス ◆建築系学科同窓会(4/19) 名古屋ガーデンパレス
5月	令和7年度 第3回事務局会議(5/8) 令和7年度 第1回総務常任委員会(5/22)	●同窓生交流会(5/9) 名古屋ガーデンパレス ●日本酒「十一代目瑞若」選定会(5/17) ◆応化会と企業との意見交換会(5/23) 名駅神戸館
6月	令和7年度 第4回事務局会議(6/5) 令和7年度 第2回総務常任委員会(6/13)	●「みずわか」編集委員会(6/6) ▲愛知県私立大学同窓会連合会令和7年度理事会・総会(6/17) 名古屋ガーデンパレス ●令和7年度瑞若会理事会・支部代表者会議(6/28) ●日本酒「十一代目瑞若」販売開始(6/29)
7月	令和7年度 第5回事務局会議(7/10) 令和7年度 第3回総務常任委員会(7/24)	■新会員のデータ入力(7/7) ◆関西支部行事 関西万博合同視察会(7/11・12)
8月		◆職場支部近藤グループ愛工会(8/1)
9月	令和7年度 第6回事務局会議(9/4) 令和7年度 第4回総務常任委員会(9/22)	◆関東支部総会(9/27)
10月	令和7年度 第7回事務局会議(10/2) 令和7年度 第8回臨時事務局会議(10/20) 令和7年度 第9回臨時事務局会議(10/30)	▲愛知県私立大学同窓会連合会三役会(10/7) 名古屋ガーデンパレス ■愛工大祭 開催への援助(10/11・12) ■工科展(10/11)「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈 ●ホームカミングデー(10/11) ■駅伝大会(10/31)「瑞若会(同窓会)特別賞」贈呈
11月	令和7年度 第10回事務局会議(11/5) 令和7年度 第5回総務常任委員会(11/20)	●AIT業種・仕事研究フェア(11/29・30)
12月		◆北陸支部総会(12/6) ◆中四国支部総会(12/6) ◆在学生と応用化学科OBOG企業懇談会(12/19) ●「みずわかvol.58」会員へ郵送

凡例：●本部事業 ■学内事業 ◆支部事業 ▲その他

人事異動に関するお知らせ			
■新規採用			
工学部電気学科	准教授 後藤 卓弥	キャリアセンター キャリア形成支援グループ	事務職員 上田 直生
工学部応用化学科	教授 佐治木弘尚	情報システム室	事務職員 荻原 雅人
工学部応用化学科	教授 林 英樹	施設企画課	参事 天野 秀樹 59B
工学部社会基盤学科	教授 北川 浩司	教学センター教務 学生サービス課教務グループ	事務職員 浅野 菜穂
工学部社会基盤学科	有期技術職員 北川 知恵 R4DD	入試センター入試広報課	事務職員 奥山 映
工学部機械学科	教授 植木 保昭	工学部機械学科	嘱託技術職員 成田 潤司
基礎教育センター総合教育教室	講師 吉原万里矢	工学部機械学科	嘱託技術職員 厨 由成
入試センター	参事 甲野 順三	キャリアセンター 自由ヶ丘オフィスグループ	非常勤嘱託職員 加藤加奈子
■人事異動(卒業生関係) 任命・昇格			
愛知工業大学	顧問 山田 英介 46C	教学センター	副センター長 倉橋 奨 H15D
愛知工業大学	副学長 石井 成美 58K	工学部電気学科	准教授 水嶋 大輔 H24ER
工学部	学部長 北川 一敬 H2M	工学部社会基盤学科	技術職員 吉田 憲弘 H21AD
エクステンションセンター	センター長 野澤 英希 H2A	経理会計課	事務職員 橋本 知佳 H20AS
自由ヶ丘キャンパス	キャンパス長 後藤 時政 H4K	学生サービスグループ	事務職員 長江 智春 H25HH
■退職教員(令和7年3月31日付)			
工学部応用化学科	教授 北出 幸夫	経営学部経営学科	教授 加藤 里美
工学部応用化学科	教授 福森 健三	基礎教育センター総合教育教室	教授 張 新力
工学部社会基盤学科	教授 中村 吉男 57D	基礎教育センター総合教育教室	教授 川端 元子
工学部機械学科	教授 松室 昭仁		

令和6年度 決算書(収支計算書)				
経常経費(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)				
■収入の部				
科目	予算額	決算額	差額	備考
入会金(基本金)	12,200,000	13,030,000	830,000	
終身会費	48,800,000	52,120,000	3,320,000	
受取利息	4,000	113,462	109,462	
当期収入合計①	61,004,000	65,263,462	4,259,462	
前期繰越金②	101,265,392	101,265,392	0	
収入の部合計①+②	162,269,392	166,528,854	4,259,462	
■支出の部				
科目	予算額	決算額	差額	備考
学科・支部援助費	5,500,000	3,731,536	△1,768,464	
総会関連費	8,500,000	7,488,061	△1,011,939	
名簿管理・IT関連費	2,000,000	1,664,608	△335,392	
会報発行費	10,500,000	10,342,629	△157,371	
準会員奨学基金				
準会員奨学基金	10,000,000	10,000,000	0	
準会員支援事業費				
学内行事支援費	3,000,000	2,165,730	△834,270	
卒業記念品費	3,300,000	2,618,550	△681,450	
大学祭援助費	600,000	600,000	0	
語学短期留学援助費	1,000,000	0	△1,000,000	
(小計)	44,400,000	38,611,114	△5,788,886	
人件費	6,800,000	5,420,381	△1,379,619	
消耗品費等	1,200,000	848,738	△351,262	
会議費	2,500,000	1,392,643	△1,107,357	
事務慶弔費	200,000	88,500	△111,500	
費私大同窓会連合会	350,000	182,961	△167,039	
雑費・手数料	500,000	65,312	△434,688	
(小計)	11,550,000	7,998,535	△3,551,465	
予備費	1,000,000	0	△1,000,000	
基本積立金へ	12,200,000	13,030,000	830,000	
当期支出合計③	69,150,000	59,639,649	△9,510,351	
当期収支差額④(①-③)	△8,146,000	5,623,813	13,769,813	
記念事業準備費へ⑤	3,000,000	3,000,000	0	
次期繰越金⑥(②+④-⑤)	90,119,392	103,889,205	13,769,813	
支出の部合計③+⑤+⑥	162,269,392	166,528,854	4,259,462	

基本積立金(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)				
■収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費からの繰入	12,200,000	13,030,000	830,000	
前期繰越金	312,808,087	312,808,087	0	
収入の部合計	325,008,087	325,838,087	830,000	
■支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	325,008,087	325,838,087	830,000	
支出の部合計	325,008,087	325,838,087	830,000	

記念事業準備費(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)				
■収入の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
経常経費からの繰入	3,000,000	3,000,000	0	
前期繰越金	3,000,000	3,000,000	0	
収入の部合計	6,000,000	6,000,000	0	
■支出の部				
科目	予算額	決算額	差異	備考
次期繰越金	6,000,000	6,000,000	0	
支出の部合計	6,000,000	6,000,000	0	

ご功績に敬意を表し、ご冥福をお祈りします				
■新宮 博康 准教授 昭和46年工学部電気学科助手採用、平成24年3月定年退職、令和7年3月8日ご逝去				
■岩科 誠司 課長補佐 (H11M) 平成11年入試広報課事務職員採用、令和7年4月30日ご逝去				
■不破 昭 教授 昭和44年工学部土木工学科講師採用、平成11年3月定年退職、令和6年9月7日ご逝去				
■藤井 勝紀 教授 昭和58年教養部講師採用、令和5年3月定年退職、令和7年10月15日ご逝去				

会員 計 報	●電気工学科 43E 渡辺 美喜夫 53E 森嶋 邦夫 H5E 伊藤 稔英	47R 中村 勇 62R 山田 佳秀	57D 金森 信男
	●電気工学科短大 50TE 安藤 洋文	●機械工学科 41M 河口 一雄 47M 近藤 英一 52M 飯田 伸吾	●建築学科 H14A 水谷 真司 H19A 大野 篤
	●電子工学科 41R 岡庭 寿輔 41R 立松 英明	●土木工学科 46D 山根 茂 57D 鈴木 則義	●都市環境学科 H20AA 寺西 亮二
			●情報科学科 H21TK 西 崇之